



ふるさと祭り東京で 七尾の情熱を 全国へ向け発信!

1月9日から開催された「ふるさと祭り東京」。観客数延べ約42万人を記録したこのイベントで、石崎奉燈祭は群を抜いて注目を浴びた。

石崎奉燈祭が、県外に出たのは、今回を含め4回。昭和45年に大阪で行われた日本万国博覧会、昭和55年に東京で開催された「日本のまつり」、昭和63年には七尾市の友好都市、香川県丸亀市の「丸亀お城まつり」だ。

観客への取材を進めると、全国から有名な祭りが出演する中で、石崎奉燈祭を目当てに来た人が多く、期待の大きさを感じた。出演が近づくと、空席がなくなり、観客の期待感が見て取れた。暗闇の会場に、スポットライトに照らされた奉燈が浮かび上がった。奉燈囃子が鳴り響き、男衆が威勢よく奉燈を担ぎあげると、どよめきが起こり、「石崎奉燈祭、日本一」「石崎奉燈祭、最高」と声飛び交い、ムードは最高潮に達した。

会場を後にする観客の心には、奉燈囃子が鳴り響き、脳裏に石崎奉燈祭が鮮明に残ったに違いない。